

GELCHOPの



レッツD.I.Y.

月イチでD.I.Y.なものづくり。

コタツで丸くならないで
ニワかけまろうよ!

Product_name

Tricycle Snow Shoveler

Material

- ・三輪車 1台
- ・スチールパイプ 1m程度
- ・スノーシャベル 1本
- ・シャベル固定金具 オリジナル加工
- ・M8/20mm ボルトナット 2本
- ・M10/50mm ボルト 1本
- ・M10ナイロンナット 1個
- ・M10ジュラコンワッシャー 2枚

How to make

- 1 三輪車とスノーシャベルを用意し、サイズ感と取り付け方法を検証。
- 2 大人が乗れるサイズに改良するために、フレームをカットし、既存のパイプに差し込める適度な太さのスチールパイプでエクステンションして、ボディをサイズアップする。
- 3 サイズ調整ができれば既存フレームとパイプを溶接して、しっかり固定。
- 4 シャベルの上下可動のための固定金具を作ろう。形状はコの字型。中心の一辺は

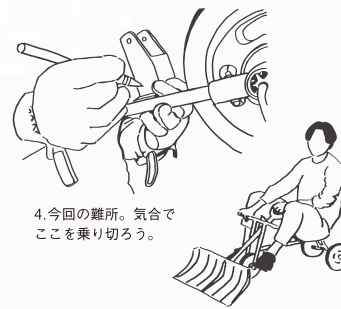
フレームへの固定用。金物とフレームをボルトナットで留められるように双方同じ位置関係で穴を開ける。突き出した2辺には、シャベルとの固定用の穴を開ける。シャベルをあてがいが、可動ストロークに最適な軸位置を測定し、軸となる位置双方に10mmほどの穴を開ける。

5 金具をボルトナット (M8程度) でフレームに固定する。

6 シャベルの柄の軸となる位置にも10mmほどの貫通穴を開ける。金具の穴、柄の穴を貫通させ、間にはジュラコンのワッシャーなどを挟み、ナイロンナットで程よい程度に締め込む。

7 三輪のローライダーにまたがり、シャベルの上下可動を確認。あとは、来る決戦の日に備え、周りの目など気にせずシミュレーションするのみ!

トライシクル スノー ショベラー ここ数年、東京でも年に数回驚く量の雪が降っている。昨年はスノーシャベルも品薄になったとか。慣れない雪に悪戦苦闘する姿もあちこちに……。今年も降るかもなあ〜なんて重い気持ちにならずに、ここはひとつ愉快的道具でも作って楽しんでみようか。三輪車ぐらいなら、置き場にも困らないだろうしローコスト。ご近所にバカうけ間違いない? 何ならチェーンなんかも作ったりして。まあ、あくまで、雪の少ないエリアの話ですよ……。



4. 今回の難所。気合でここを乗り越えよう。

7. 完成! 楽しい。大人も余裕でライドオン。

はみだしのDIY

車で工場に向かう道すがら、金属加工の町工場の前に、梅の木が植わったとても気になる巨大な鉢がある。白いプラスチックのメッシュのモノと、小さな穴が綺麗に並ぶステンレスのモノ。排水性は良さそうだけど、違和感ありあり。ある日その奥にある2槽式の洗濯機に“水仙”が植えてあるのを発見。回転する水仙を想像して独りうけていて気付いた、そっか洗濯槽! その日からおじさんを見かけると頭を下げるようにしている。今年も咲くかな梅。

ゲルチョコップ | D.I.Y.造形グループ。モリカワリョウタ、オザワテツヤ、タカハシリョウヘイがメンバー。昨年よりのんびり進行中の発電ママチャリも、今年は走行しながら発電が目標。すごいカタチの自転車になりそうです。2人漕ぎ、パワー倍増巨大車輪つき!

